

酪農宮崎

令和8年 8月31日 印刷
令和8年 9月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.658
2026年9月

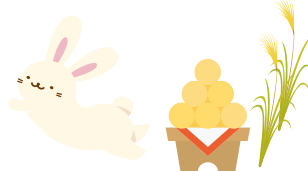


たかはる盆祭り

9月号目次

情勢報告	1
たかはる盆祭り	2(上)
表紙募集	2(下)
ミルクラン	3~4(上)
みやっ子タウン	4(下)
酪農経営支援事業実績	5~6
農大通信Vol.20	7
堀獣医のホッとひとやすみ	8

ナンノ教授のヒトリゴト	9
全酪広告	10
全農広告	裏表紙



MILK UP!
プロジェクト



JAみやざきHP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和8年8月14日現在

指定団体	7月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	340,030	100.6	1,358,409	99.0
東北	36,565	98.4	150,550	96.7
関東	81,240	99.0	348,543	98.8
北陸	4,781	93.6	20,489	92.7
東海	22,764	99.3	97,999	99.1
近畿	10,424	96.0	45,620	96.3
中国	22,265	98.5	97,108	98.8
四国	7,793	96.6	33,946	98.7
九州	41,604	98.1	182,917	99.4
(内、宮崎)	4,654	86.5	20,646	89.5
都府県	227,437	98.4	977,173	98.4
合計	567,467	99.7	2,335,582	98.7

2. 販売状況

令和8年8月14日現在

用途	区分	7月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	237,283	93.7	956,658	96.8
	九州	28,693	94.4	121,549	95.3
はっ酵乳等	全国	37,320	100.0	145,066	100.0
	九州	7,467	98.8	29,450	101.4
特定乳製品	全国	144,755	106.5	645,766	99.1
	九州	3,341	144.9	23,038	125.2
生クリーム	全国	110,822	101.9	429,705	99.6
	九州	2,004	97.3	8,488	96.9
チーズ	全国	37,286	110.0	158,386	105.3
	九州	99	103.4	392	115.5
合計	全国	567,466	99.7	2,335,581	98.7
	九州	41,604	98.1	182,917	99.4

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 7月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	6戸
80 t 以上 ～ 100 t 未満	戸
60 t 以上 ～ 80 t 未満	4戸
40 t 以上 ～ 60 t 未満	25戸
20 t 以上 ～ 40 t 未満	62戸
10 t 以上 ～ 20 t 未満	38戸
10 t 未満	18戸
合計	153戸
最高出荷量	162t/月
平均出荷量	30t/月

4. トピックス

指定団体の機能を発揮し生乳廃棄はゼロ！！

毎日の作業お疲れ様です。

令和8年7月28日に熊本県を震源とする最大震度7の地震が発生しました。熊本県南地域を中心に様々な被害が発生しています。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、この地震による本県の酪農業に大きな被害が確認されておりましたが、交通インフラの停止に伴い牛群検定サンプルの配送ができない等の事例が発生しました。有事の際の対応等については、本事例を踏まえた対策を検討していきたいと考えております。

熊本県の被害状況については既に報道の通りですが、熊本県内に工場を持つ乳業メーカー等は既に復旧し稼働を再開しております。JAみやざきからも支援物資を送っておりますが、改めて、全国連等を中心に募金等を含めた案内があると思いますので、随時生産者の方々にご連絡いたします。

さて、JAみやざき(旧JA宮崎経済連)に入会し22年が経過しますが、我々が生業としている一次産業は、天変地異に非常に大きな影響を受ける産業だと思われ知られます。地震はもとより、台風、豪雨、猛暑に日照不足等々、「10年に一度の災害」は毎年日本のどこかで起き、その度に畑、畜舎やハウス、集荷場等に甚大な被害が発生し、結果として生産者の経営に大きな影響を及ぼしています。生産者及び業界団体等が各種対策を打つことで、起きた災害規模に比べ被害状況は想定より少なくなってきたものの、被害がゼロということはありません。今回の地震においても、生産した野菜の出荷先が被災し、野菜の販売先がない等の事例が確認されています。

熊本県内には、生乳を受け入れ、一般消費者の飲用向けに牛乳や加工乳、乳飲料、ヨーグルトなどの「市乳」を製造する工場が4つあります。7月28日の地震発生後、熊本県内の市乳4工場は一斉に稼働を停止しました。これは、九州各県から受入れ予定だった生乳約6,000トン/日の大半が一夜にして行き場を失った、ということです。大変な非常事態ですが、ここで、酪農サプライチェーンが持つ「指定団体機能」の強みが大きく発揮されました。九州生乳販連は指定団体機能の「根幹」ともいえるべき「一元集荷多元販売」の機能を最大限に発揮し、県内外の乳業工場に協力を求めると共に、全国連と連携して域外に生乳を移出するなどして、熊本県内4工場で受け入れる予定の生乳を一滴も廃棄しない対応を取りました。また、他の地域の指定団体も、熊本の生乳を廃棄しないよう県外に移送する為、集乳車及び運転手を九州へ派遣しました。もし、酪農家が直接乳業メーカーと取引していれば、行き場を失った生乳は廃棄される以外に方法はなかったと思います。

酪農サプライチェーンが持つ生産から販売までの一連の流れは他の農畜産物に比べても特に独特なものです。個々の酪農家は生乳を生産し、生産者団体が各農場まで生乳を取りに行き、それを指定団体が乳業メーカーへ販売し送乳する。乳業メーカーはその生乳を検査・パッキングし消費者へ届ける。それぞれが大事な役割を担い、どこが欠けても成り立たない。

今回の事象を踏まえ、酪農事業に携わる全員が当たり前に行っている日々の仕事は、店頭で牛乳を買って頂くお客さんや給食で牛乳を飲む子供たちに安定的に牛乳を届ける為に全て必要な役割であることを改めて認識し、責務を痛感する昨今です。

酪農課 木下 崇司

牛乳のふるまいで消費拡大を呼びかけ

8月15日、高原町駅前広場で行われたたかはる盆踊りまつりにて、来場された方へ県産牛乳のふるまいを行い牛乳の消費拡大を呼びかけました。

今年から行なわれた第1回たかはる盆踊りまつりの中で、牛乳をふるまい牛乳の消費拡大につなげようと企画。同 JAの職員と会場のスタッフが「宮崎の牛乳をぜひ飲んでください」など行き交う人に声をかけ、200mlのLL牛乳をふるまい、祭りイベントを鑑賞しながら飲まれていました。

用意したLL牛乳240パックは2時間ほどですべて配り終えました。



『酪農宮崎』表紙写真大募集!!

毎月掲載しています「酪農宮崎」表紙写真ですが、あなたの撮った写真を掲載してみませんか？

酪農において「おもしろい写真が撮れた!」や「キレイな写真を撮った」、「子供や自分が描いた絵がある」、「牧場メンバーの写真を紹介したい」

など、様々なことがあると思います。それを酪農宮崎の表紙に応募してみませんか？インスタだけでなく、酪農宮崎でも共有してみましょう。

酪農宮崎編集委員にて審査を行い、入賞された方には豪華賞品をお届けいたします!

たくさんのご応募お待ちしております♪

【申込先】

JAの酪農担当部署、JAみやざき本店酪農課

(TEL:0985-31-2128 Fax:0985-31-5765)まで!



酪農宮崎 企画

「この人を知る」ーミルクランー

高見 哲也

【所属・プロフィール】

所属 東臼杵北部農業
改良普及センター

出身 延岡市

出身学校 宮崎大学

仕事の概要

畜産の技術・経営指導

酪農家の皆様へ

日々の搾乳、本当にお疲れ様です。牛さん同様、皆様も体調管理やケガには十分お気をつけください。高乳質な生乳に負けないよう、私も「濃厚」なサポートを心がけます！



宮崎 涼子

【所属・プロフィール】

所属 中部農業改良
普及センター

出身 福岡県

出身学校 鹿児島大学

仕事の概要

畜産の技術や経営、飼料作物生産に関する業務を行っています。

酪農家の皆様へ

毎日美味しい牛乳を届けていただきありがとうございます。今年も暑い日が続きますが牛乳を飲んで元気に乗り切りたいと思います！皆様のお役に立てるよう頑張りますので、いつでも気軽にお声かけください。



橋谷 薫

【所属・プロフィール】

所属 南那珂農林振興局
(南那珂農業改良
普及センター)

出身 宮崎県小林市

出身学校 宮崎大学

仕事の概要

牛・豚・鶏、飼料作物や鳥獣害対策など、畜産に関わることは何でも担当しています。今年、飼料用イネの乾田直播試験に力を入れて取り組んでいます。

酪農家の皆様へ

飼養管理や飼料生産でお困りのことがあれば、お気軽にお声がけ下さい。牛だけでなく、ご自身やご家族の暑熱対策も忘れず、暑い時期を乗りきりましょう！



加藤 大輝

【所属・プロフィール】

所属 北諸県農業改良
普及センター

出身 串間市

出身学校 宮崎県立
農業大学校

仕事の概要

北諸県農業改良普及センターで畜産を担当しています。畜産農家に対して、飼養管理や経営改善など、技術面・経営面の両面から支援を行っています。今年度は、全国酪農青年女性発表大会に向けた発表支援にも携わりました。また、休日等には実家の肉用牛経営を手伝う週末農家として、現場での経験も積んでいます。

酪農家の皆様へ

毎日、おいしい牛乳の生産にご尽力いただき、ありがとうございます。今年も厳しい暑さが続いています。牛たちの暑熱対策に加え、作業される皆さまもこまめな水分補給や休憩を心掛け、熱中症には十分お気を付けください。牛も人も健康第一で、この夏を元気に乗り切りましょう。



井上 優子

【所属・プロフィール】

所属 西諸県農業改良
普及センター

出身 愛知県豊明市

出身学校 宮崎大学農学部畜産草地科学科

仕事の概要

酪農、養鶏、飼料作物を担当し、管内農家の支援をしています。

酪農家の皆様へ

いつも地域の酪農を支えていただきありがとうございます。まだまだ至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでもお役に立てるよう、日々努力して行きたいと思っています。



壺岐 侑祐

【所属・プロフィール】

所属 児湯農業改良
普及センター

出身 日向市

出身学校 宮崎大学

仕事の概要

児湯農業改良普及センターで畜産に関連する牧草生産、研修、技術指導、経営相談お悩み相談等を行っています。地域に根ざして頑張りますのでよろしくお願いします。



酪農家の皆様へ

皆様のおかげで、おいしい牛乳を飲むことが出来ています。私も妻も牛乳が好きで週に3本～5本の牛乳を飲んでます。いつも本当にありがとうございます。

こどもがつくるまち 「第3回みやっ子タウン」開催

8月8日(土) 清武文化会館にて「第3回みやっ子タウン」が開催され、昨年に続き参加しました。

このイベントは、宮崎市青少年育成連合会が主催。宮崎市内の小学生約300人が架空のまちの市民となり、ハローワークで仕事を探して働き、給料(テゲ)を受け取って納税し、残ったテゲで買い物や遊びを楽しむイベントとなっております。会場には、39の企業・団体が出展し、中学生から大学生までの学生ボランティア約230人が運営や職業体験を行いました。

JAみやざきは、模擬牛「ミル子」の搾乳体験が出来る「JAみやざきミルクファーム」として出展し、参加した小学生に酪農の仕事を紹介しました。



酪農経営の簡易分析結果について (酪農経営支援事業 分析期間：令和7年1月～12月)

公益社団法人宮崎県畜産協会 経営支援部

1 実績の概要

事業参加者46戸のうち、酪農を主体とする25戸を対象とした分析結果を報告します。

(1) 経産牛1頭当たりの所得

経産牛1頭当たりの所得は179千円で、前年から約109千円増加しました。

経産牛1頭当たりの収入 1,613千円(前年比108%、123千円増)

経産牛1頭当たりの費用 1,434千円

(前年比101%、14千円増、家族労働費は除く)

○所得 179千円(前年比155%、109千円増)

(2) 経産牛1頭当たりの出荷乳量

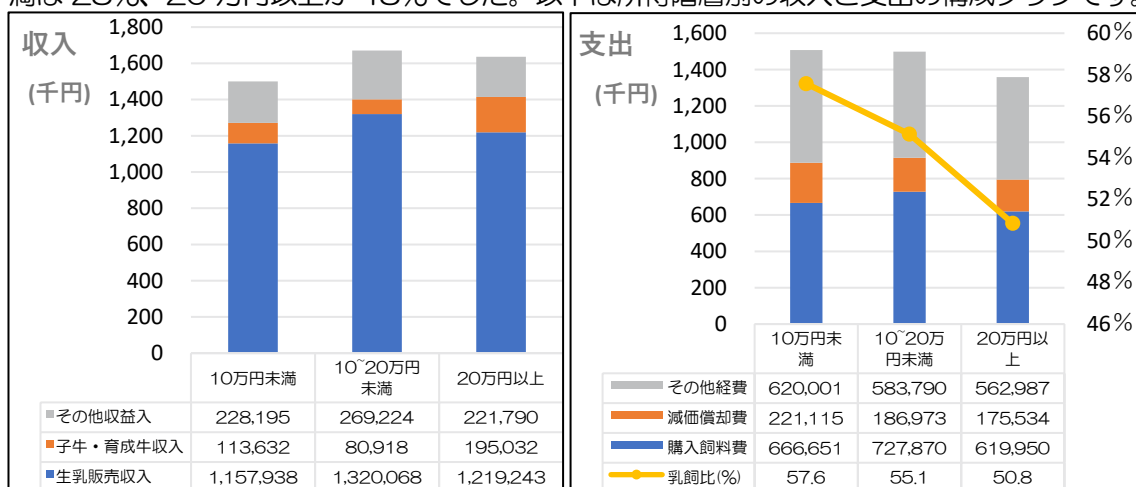
経産牛1頭当たりの出荷乳量は8,588kgで、前年から約237kg増加しました。

経産牛1頭当たりの出荷乳量 8,588kg(前年比103%、237kg増)

経産牛1頭当たりの生乳販売収入 1,233千円(前年比105%、56千円増)

2 経産牛1頭当たりの所得階層別成績

経産牛1頭当たりの所得階層別割合は所得10万円未満が24%、10万円以上20万円未満は28%、20万円以上が48%でした。以下は所得階層別の収入と支出の構成グラフです。



【数値から見る高所得経営の特徴】

- ・生産費用を低減できている(乳飼比が低く、減価償却費やその他経費が抑えられている)。
- ・生乳販売だけでなく、子牛・育成牛販売や奨励金等のその他収入が多い。

3 分娩間隔別の成績

分娩間隔が短い経営は、発情発見効率が高く、初回授精日数が短い傾向があります。また、分娩間隔が長くなると、牛群の平均搾乳日数も長くなり、低泌乳期の牛の割合が増加することで、牛群全体の乳量が減少します。平均搾乳日数が160日を超えた場合、1日1頭当たり約80gの乳量減少が見込まれます。(乳量8,000kg台の牛群の場合)

【分娩間隔を短縮するために】

- ・分娩後の初回授精日数の短縮(目標80日)
- ・発情発見効率の向上(初回又は次回発情を見逃さない：目標80%以上)

表1 分娩間隔別の繁殖項目平均値

No.	区分	単位	平均	分娩間隔区分		
				14ヶ月未満	14～15ヶ月	15ヶ月以上
1	集計件数	件	25	6	8	11
2	経産牛頭数	頭	45.8	43.4	48.1	45.4
3	出荷乳量	kg・頭	8,588	9,735	8,678	7,897
4	搾乳日数	日	204	180	196	223
5	授精回数	回	2.3	2.0	2.3	2.4
6	初回授精日数	日	110	87	98	130
7	空胎日数	日	174	126	153	215
8	発情発見効率	%	55.7	70.0	63.3	47.4
9	産次	産	2.7	2.8	2.7	2.6

表2 経産牛1頭当たり経営収支及び生産技術の状況（家族労働費を除く）

区分		単位	No.	年次別			所得階層別		
				R6	R7	増減	10万未満	10～20万未満	20万以上
集計件数		件	1	26	25	▲1	6	7	12
経産牛常時飼養頭数		頭	2	43.1	45.8	3	53.1	46.5	41.7
収入	生乳販売収入	千円	3	1,177	1,233	56	1,158	1,320	1,219
	子牛育成牛販売収入	千円	4	100	144	44	114	81	195
	その他（営業外含む）	千円	5	213	236	23	228	269	222
	収入計	千円	6	1,490	1,613	123	1,500	1,670	1,636
費用	購入飼料費	千円	7	645	661	16	667	728	620
	乳飼比（7÷3）	%	8	54.8	53.6	▲1	57.6	55.1	50.8
	減価償却費	千円	9	185	190	5	221	187	176
	診療・医薬品費	千円	10	62	61	▲1	61	59	63
	その他	千円	11	328	348	20	365	385	318
	生産費計	千円	12	1,220	1,260	40	1,314	1,358	1,177
	売上原価（育成経費等差引）	千円	13	1,102	1,154	52	1,194	1,254	1,076
	販売経費・営業外費用	千円	14	318	280	▲38	314	245	283
	費用計	千円	15	1,420	1,434	14	1,508	1,499	1,358
収益	所得額（6-13-14）	千円	16	70	179	109	-8	172	278
	所得率（16÷6）※営業外含む	%	17	4.7	11.1	6.4	-0.5	10.3	17.0
生産技術	出荷乳量	kg	18	8,351	8,588	237	8,058	9,242	8,472
	平均乳価	円	19	140.9	143.5	3	143.8	142.8	143.8
	分娩間隔	日	20	462	459	▲3	446	456	466
	平均乳脂率	%	21	4.02	4.07	0.05	4.09	4.00	4.11
	体細胞数	万/ml	22	20.4	18.1	▲2	17.6	19.8	17.5

※ 事業加入者につきましては、令和8年7月に令和7年次のまとめ分析帳票を発行しておりますので御活用ください。また、追加加入も随時受付しております。

※ 繁殖成績項目は乳用牛群能力検定事業（牛群検定）データより集計しています。

4 最後に

畜産情勢は、飼料や資材等の高騰により大変厳しい状況が続いており、経営管理の重要度が増しています。

我が家の経営数値の把握・比較・点検を継続して行い、要改善点の早期発見、また経営計画や目標の策定等に役立てましょう。



農大通信 vol.20 ～日々技術習得～

暑い日が続きますが、牛たちはもりもりとエサを食べています。快適な寝床を見つけては、ゆっくり休んで反芻する。まさに牛らしく、のんびりと過ごしています。

さて農業大学校の様子ですが、2年生は農業用けん引免許の取得に挑みました。普段の作業でけん引車に乗ることはないのですが、年に数回の粗飼料の刈り取りの際は運転しなくてはなりません。教習コースは学生にとって乗り慣れたものなのですが、後ろに荷台がついているだけで曲がれなかったり脱輪したり、なかなか難しいものです。しかし、教習が終わる頃にはスムーズに乗りこなし、見事に全員合格しました。



農業用けん引免許教習の様子

1年生は、総合実習が終わり、7月から専攻に分かれての活動が始まりました。我らが酪農専攻ですが、新たに6名の学生が加わりました。今年の1年生はチームワークがすごい。まずは倉庫の整理をして、飼料置き場、パドックなどの大改造が始まりました。とてもきれいになった気がします。その後、運営面の引継ぎも行われました。搾乳、給餌、床替えなどいろいろあります。とりわけ直腸検査や人工授精は初めての学生が多いのですが、みんな慣れない手つきながら頑張っています。



牛舎整理の様子



人工授精の様子

農業大学校で作られた生乳は JAに出荷しています。ただ、一部は別ルートで出荷しており、農大牛乳を飲む？ことができる場所があります。一つは、農業大学校学生寮のレストランです。週に数回、朝食時に農大牛乳を提供しています。一般の方も利用できるのですが、毎日出てくるわけではないので、飲めるかどうかは運次第だったりします。もう一つは、農大製アイスクリームです。11月の農大祭で販売しますので、是非ご賞味あれ。



朝食で提供される農大牛乳

暑～い日が続いていますが・・・ 暑いときに現れる侵入者

KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT

JAみやざき本店 酪農課 堀 重信

ここ数年は酷暑の夏が続き甚だバテてしまいます。初夏になる度毎日「今年の最高気温は・・・」という言葉が聞こえて来ます。

そんな中でも牛たちはせっせと餌を食べて乳を出してくれている・・・筈なのですが、こう暑いとそれにも限界がありますね。このような牛たちは基本的にエネルギーの不足でしょう。そのうえ実はこれだけでは収まらず、こういう時って外部からの侵入者に狙われやすい時期となります。

その侵入者の代表が”細菌”です。そこでこの細菌関連で夏場に注意する3点をご紹介します。

1.耐熱性菌



この菌はバルク乳検査を実施の中で登場してくる名前です。

広く見れば納豆菌もこのグループに入るので、すべてが悪者ではないのですが、この菌の仲間の特徴はなんと言っても読んで字のごとく**熱に強い**こと。

このため高温下でも強いがゆえに、他の細菌たちが暑さに負けて生命の危機に瀕してもじっと生き残って他の菌が死滅するしてから活動を再開出来るのです。ちょっとズルそうですがそれくらい生命力に長けています。そのため、ミルカー等の機材に汚れが残っているとぬくぬく育つ事が可能です。

先ほど申したようにすべてが悪者ではないものの良い者か悪者かわからないと不安ですね。

そのため**機材等の洗浄はしっかりしましょう！！**

2.大腸菌



この菌はどちらかと言うと悪者でおなじみの菌ですが、この菌自体が悪者ではないのです。問題となるのは、この菌をイジメて菌が死ぬときに出的毒にあたって具合悪くなる点です。だからこの菌は**イジメてはいけません。「抗生剤でエイッ！！」となんてやっつけたら最悪です。**ですがこの菌たちは酸っぱい所は苦手なので乳酸菌などと共存させると悪さが出来なくもなります。

漬物が良い例で乳酸発酵させておいしく安全な食品になるのはこんな理由です。

3.その他



直接細菌を名指しするのではなく”**バルクスイッチの押し忘れ**”にも注意してください。

暑くなると、人も頭がボーとなって、ついうっかり押し忘れが出て仕方がない気温です。ただ、細菌によっては栄養があつて温度と湿度が整うと急激に増殖します。”ついうっかり”が”あつとがっかり”となりますように。



農学部 ナンノ教授のひとりごと

富士山

南野 快

8月初旬に富士山に登った。宮崎から羽田まで飛び、東京で1泊、翌朝7時半に新宿発のバスに乗って午前11時に富士宮口5合目(標高2,400m)に到着、1時間少々の高地順化の後、登山道を歩き始めた。富士山には主として4つのルートがあるが、この富士宮ルートは山頂までの距離が最も短い分、急登が続く。また、最も標高が高い地点から登り始めるので高山病にも十分な留意が必要である。

私にとって最初の富士山登山は11年前、次は10年前だった。初回時は7.5合目で1泊し、翌朝4時に起床して山小屋で日の出を見た。翌年は6名で登り8合目で泊まったが、翌朝に体調不良のメンバーがいたので、無理せずそこから2名が下山することになり、私もそれに付き合った。ということで今回は3回目、山頂でのご来光が目標となった。パーティ(登山グループ)は私と娘と長男、そして長男の彼女の4人だった。娘と長男とはこれまでも何度か一緒に山登りをしていたので、彼らが初の富士山としても(高山病の懸念以外は)心配はしていなかったのだが、長男の彼女は山登り初心者ということで細心の注意を払うことにした。また、私は自分の子供の恋人に会うという経験が初めてだったことから、その点でもドキドキした。

10年前の富士山との大きな違いは、入山に要する経費である。前回は「協力金のお願い」ということで1,000円を支払ったのだが、任意での徴収だった。今回は事前にアプリでの登録と入山料4,000円が必須ということで、登録後に表示されるQRコードを提示しないと5合目から上には登れないのである。今般の富士山人気とインバウンドを考えるとやむを得ない。

富士山は他の山登りとは一線を画する。それは、日本で最も高山病のリスクが高いにもかかわらず、登山初心者の割合が多い。山登りが趣味ではなく、登頂だけが目的になりやすい点も独特である。それは、登下山時の救助要請の多さにもつながっている。最近新聞記事にも出たが、富士山では2023年以降に少なくとも27人が亡くなっているという。しか

も、その全員が男性である。救護所で治療を受ける人は男女半々であるにもかかわらず、である。山頂に到達することだけを目指すので、無理がたたって重症化し、しかも単独行だと倒れても救助が遅くなる結果、最悪の結果を迎えてしまうことになり得る。一方で女性は数名のグループで、しかも限界が来る手前で潔く撤退する勇気を持っている人の割合が多いのかもしれない。

今回僕たちは9合目で宿泊し、翌日午前2時半に登り始めて4時過ぎに無事山頂に到達した。そしてご来光を4人全員で拝むことができた。ただ、下山では焦る事態があった。富士宮ルートは登山と下山のルートが同一なので、登山者が多いと下山者は道を譲るために止まる時間が長くなってしまう。その分、下山に時間を要することになり、ペース配分の乱れもあって、帰りのバスの5合目からの出発時刻に危うく遅れるところだった。山頂でお鉢巡りをしていたら、到底間に合わず、完全にアウトだった。初心者がパーティにいたことでかえって無理をしなかったことが功を奏した。



写真 富士山山頂のご来光。気温約3度の中、風が吹き、体感気温はさらに大きく低下していた。とはいえ、待った甲斐があった。天候にも恵まれ、ご来光の瞬間を拝むことができた。何とも言えない達成感に包まれた。

全酪連初生牛預託事業のご案内

- ・「仕事が多すぎて、子牛の面倒を十分に見てあげられないんだよね。」
- ・「子牛の病気や治療が多くて困っているんだよね。」

こんな悩みをお持ちの酪農家の皆さん、全酪連の初生牛預託事業を利用してみませんか？



全酪連若齢預託熊本牧場（菊池市泗水町）

～牧場風景～



【預託事業に関するお問い合わせは】
全酪連 福岡支所 畜産課 まで
092-431-3447
お気軽にご相談ください。

【全酪連初生牛預託事業とは？】

皆様の乳用種初生牛(雌牛)を概ね生後4日齢～1カ月齢でお預かりし、
全酪連若齢預託熊本牧場にて6～8カ月齢まで哺乳・育成いたします。

※対象牛は、健康な乳用種初生牛(雌牛)です。

(肺炎、下痢等の疾病等のある子牛はお預かりできません。)

※哺育期間は、全酪連「強化」哺育・育成体系で管理いたします。



代用乳製品

生まれた子牛は強化哺育®にお任せください!!

ホルスタイン雌子牛 強化哺育®用



全酪連は2005年1月に搾乳後継母牛のための「強化哺育®」・育成体系を発表、強化哺育®用代用乳「カーフトップEX」を供給してまいりました。以来、全国各地でご利用いただき、子牛の発育と健康面における大幅な改善、初産分娩の月齢短縮や体格向上、初産乳量増加などの好結果に絶大なご支持を賜ってまいりました。全酪連・酪農技術研究所では、自家産の雌牛を対象に、哺育体系の違い（「標準体系」vs「強化哺育®」）を比較するための飼養試験を1998年より継続してまいりました。これまでの5年間のデータを哺育期・育成期・初産乳期について集積・比較した結果を要約すると、初産分娩月齢は22.3ヶ月ではほぼ同一、初産分娩後体重は強化哺育®区が596.2kgで+23.7kg、初産乳期乳量は強化哺育®が9,682kgで標準より+822kgという結果でした。

和牛・F1子牛 強化哺育®代用乳



強化哺育®の効果を和牛子牛やF1子牛に応用するために「カーフトップEXブラック」を開発、2007年夏より供給開始し、全国の肉用系牛の体格を大幅に改善して注目されております。肉用系牛においても、強化哺育®によって、過肥にならず、フレームサイズが大きく、飼料摂取に優れた育成管理が重要であり、全国で自動哺乳機による和牛・F1子牛強化哺育®事例が普及しつつあります。「カーフトップEXブラック」は、ホルスタインよりも生時体重の小さい和牛やF1子牛のエネルギー充足を満たすためにエネルギー濃度を上げ、更に粉末初乳を加えて便スコアの改善を考慮しています。



全酪連の購買製品カタログ(全国版)はこちら
代用乳・配合飼料・添加物・酪農・畜産機材類 掲載

地域によって、取扱いがない製品もございます。
詳しくは各支所へお問い合わせください。

福岡支所 TEL 092-431-8113 FAX 092-431-8355
南九州事務所 TEL 0986-62-0006 FAX 0986-62-0193

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実、ビートパルプを多く配合したミックスタイプ



➤ 乳スタンダード

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- シンプルな内容で低コストを実現

